

平成30年度 事業報告

【公益目的事業】

公1	市民の健康福祉意識の醸成啓発事業、生きがいきづくり支援や社会参加の促進に関する事業及び仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	226,395,093円
		費用	227,755,650円
		人件費	125,104,348円
		物件費	102,651,302円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種講座の開催

広く市民に生きがい・健康づくりの重要性を普及・啓発するために講演会を実施した。また、高齢者や高齢期以前の市民に対して、生きがいきづくり支援や社会参加の促進を目的とした学習機会を提供した。

(1) 意識啓発講演会	年1回	シルバーセンター	自主事業	
			0	132,998

生きがい・健康づくりにつながる最新の活動や話題を取り上げたイベントを開催し、市民の健康づくりの取り組みを推進した。

①生きがい・健康づくりイベント

ア) 講演会

◆開催日：平成31年3月9日

◆テーマ：生涯健康脳～健康脳と睡眠～

認知機能の低下予防に効果的といわれる健康的で活動的な生活について、特に「睡眠」がはたす役割をテーマとした講演会を実施した。講演後には、快眠につながる実践方法として、リラクセス法の体験を行った。

◆参加者：250人

イ) 講演会関連イベント

◆テーマ：脳の健康づくりイベント

講演会に関連し、生涯健康脳のために日常生活で取り組んでもらいたい運動・栄養・睡眠・趣味・知的好奇心・社会参加の6つの取り組みについて、事業団で実施している事業紹介を、ブース出展やパネル展示により行った。

また、睡眠に関する実践の提案として、各種セミナーや快眠グッズ紹介、リラクセス法を体験する「睡眠マルシェ」を同日開催した。

◆参加者：延べ1,013人

(2) 学習機会の提供

ア	せんだい豊齢学園公開講座	年4回	シルバーセンター	自主事業	
				93,000	74,000

「豊齢化社会づくり」への理解と豊齢学園の一端を紹介するため、学習内容を一般市民に公開した。

①芭蕉と奥の細道

◆開催日：平成30年11月19日

◆参加者：77人（一般42人、学園生35人）

②表現の世界を知る～川柳と健康～

◆開催日：平成30年12月21日

◆参加者：106人（一般58人、学園生48人）

③伝えるための話の組み立て方・話し方～プレゼンテーションの基礎知識～

◆開催日：平成31年1月28日

◆参加者：119人（一般51人、学園生68人）

④仙台領の美術と文化

◆開催日：平成31年2月8日

◆参加者：101人（一般55人、学園生46人）

イ	せんだい豊齢学園短期集中コース	年2期	シルバーセンター	自主事業	
				103,000	20,000
<p>通年の学習に参加が難しい市民を対象に、豊齢学園学習カリキュラムから、より専門性を持たせた内容を提供し、地域づくりや社会参加等の必要性の理解促進及び『豊齢化社会づくり』を担う人材育成を目的として関係団体との連携により実施した。</p> <p>①第1期：静けさや～さまざまな音の世界～（豊齢学園・東北文化学園大学連携市民講座） ◆開催日：平成30年8月7日・8日（全3回） ◆参加者：延べ94人</p> <p>②第2期：仙台文芸紀行～世代をつなぐ文芸の魅力～ ◆開催日：平成31年3月6日・7日（全3回） ◆参加者：延べ142人</p>					
ウ	大人の未来学校	年5回	シルバーセンター	自主事業	
				73,500	159,413
<p>生きがいや健康づくり、生活設計等を通し、現在の生活と高齢期のつながりについて考える機会を持てるよう、さまざまな角度からテーマを設け、講座を開催した。また、より多くの市民へ意識啓発を行うため、事業団発行の情報誌「杜人」において講座実施内容の紹介を行った。</p> <p>①和の魅力を再発見～‘てのひら’から生まれる和菓子～ ◆開催日：平成30年6月13日 ◆参加者：19人</p> <p>②平均寿命100歳時代のロングライフプランニング ◆開催日：平成30年7月7日 ◆参加者：34人</p> <p>③仙台に寄席が来た！落語と寄席の楽しみ方 ◆開催日：平成30年9月8日 ◆参加者：21人</p> <p>④星空の楽しみかた☆ ◆開催日：平成30年12月1日 ◆参加者：18人</p> <p>⑤もう人前も怖くない！「あがらない」心の持ち方講座 ◆開催日：平成31年2月9日 ◆参加者：36人</p>					

2 高齢者ボランティア等の人材養成

高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を社会に還元し、自身の生きがいづくりに加えて、地域社会づくりの重要な担い手となるよう、高齢者ボランティア等の人材を養成した。

(1) せんだい豊齢学園事業	通年	シルバーセンター	自主事業	
			5,213,800	4,854,744
<p>高齢者向けに社会貢献に資する学習と相互交流の場を提供し、生きがい・健康づくりを支援しながら、豊齢化社会推進を担う人材の養成を図るため、「せんだい豊齢学園」を開設・運営した。</p> <p>平成30年度よりコース編成を見直し「社会活動コース（2年制）」「75歳からのアクティブライフコース（1年制）」を新設した。</p> <p>◆期間：平成30年4月23日～平成31年3月1日（月・金曜日）</p> <p>◆会場：仙台市シルバーセンター等</p> <p>◆受講生：社会活動コース1年 81人 75歳からのアクティブライフコース1年 42人 総合生活コース2年 56人 ふるさと文化コース2年 53人</p> <p>◆学習時間：年間30日程度。普通講座のほか公開講座、館外学習等を実施した。</p> <p>◆学習内容：①せんだい豊齢学園 ア) 社会活動コース（平成30年度より新設コース／2年制） 介護予防のための活動を理解し、支え合いの地域づくりを実践するためのスキル習得を目的とした学習を行った。</p>				

- イ) 75歳からのアクティブライフコース（平成30年度より新設／1年制）
75歳以上の方を対象として生涯学習や交流の場を提供し、生きがいづくりや仲間づくり、地域での支えあいにつながるような学習を行った。
- ウ) 総合生活コース（平成30年度は2年生のみ）
現代社会の仕組みや文化への理解を深め、生きがい・健康づくりの活動を通して地域における介護予防や生きがい支援等の社会貢献活動を担う人材を育成した。
- エ) ふるさと文化コース（平成30年度は2年生のみ）
身近なふるさとの歴史や文化についての学習を通して、地域文化の伝承活動や地域交流活動を担う人材を育成した。

②せんだい豊齢学園人材育成講演会

「子ども読書支援のすすめ～児童文学・絵本の力に目を向けて～」

豊齢学園の夏休み期間を利用して、児童文学の魅力を学ぶと共に、世代間交流の機会ともなる読書支援への理解を深め、これからの地域活動につなげるための講演会を開催した。

【開催日】平成30年7月23日 【参加者】38人

③豊齢学園・豊齢ネット交流イベント

豊齢ネット主催イベントへの参加を通じて学園生だけでなく市民との交流を行い、豊齢学園修了後の活動につなげる動機づけとした。

【開催日】平成30年11月30日 【参加者】1,288人

- ◆豊齢学園説明会：入学を検討している市民に対して学園の目的と概要等の説明会を実施した。（2回、延べ118人参加）

(2) シニア学び合い講座	通年	シルバーセンター	自主事業	
			813,000	1,395,715

高齢者がさまざまな活動を通して蓄積した知識や技能を公開・伝承することで、より多くの高齢者の社会参加を啓発・支援することを目的とした講座を開催した。また、ICT（情報通信技術）の活用を通じた高齢者の活発な社会参画・地域貢献を推進するため、スマートフォン等の使い方講座を開催するとともに、講座修了生を講座運営のサポーターとして養成・活用することで、学び合い実現と世代間交流を図った。

①七夕飾り作成ボランティア体験

◆開催日：平成30年9月25日、10月2日・9日・23日

◆参加者：延べ36人

②シニアのためのスマホ講習会「スマホサロン@仙台」

ア) 一般市民向け講座

◆実施回数：24回（全2回コース×12講座）

◆参加者：延べ345人

◆運営サポーター：延べ88人

イ) サポーター養成講座

◆実施回数：1回

◆参加者：7人

ウ) サポータースキルアップ講座

◆実施回数：1回

◆参加者：23人

エ) スマホ体験相談会

◆実施回数：3回

◆参加者：延べ65人

◆運営サポーター：延べ29人

③シニアのための地域活動実践講座

「ヒップホップダンス♪で始めよう～いきいきライフスタイルのすすめ～」

◆開催日：平成30年5月28日、6月4日・11日・18日・25日、7月2日

◆参加者：延べ180人

3 ボランティア団体等の支援

高齢者のボランティア活動の継続・活性化を図り、地域で高齢者を支える仕組みづくりを促進するために、高齢者が主体となり活動を行っているグループを支援するとともに、地域高齢者を対象に活動を行っているボランティア団体を支援した。

(1) せんだい豊齡ネットワーク支援	通年	シルバーセンター等	自主事業	
			160,673	1,113,664
<p>シニア活動団体のネットワーク組織であるせんだい豊齡ネットワークの運営・活動について各種支援を行った。</p> <p>①交流サロン運営 ◆開室日数：179日</p> <p>②活動拠点の利用</p> <p>ア) ふれあいコーナー ◆利用日数：246日 ◆利用者：9,433人</p> <p>イ) 活動コーナー ◆利用日数：166日 ◆利用者：2,691人</p> <p>③運営会議 ◆代表者会議：3回 ◆推進会議：12回</p> <p>④豊齡ネット全体活動</p> <p>ア) ふれあい広場 ◆実施回数：9回 ◆参加団体：豊齡ネット加入団体 11団体 ◆来場者：延べ3,594人 ◆ふれあい広場実行委員会：9回</p> <p>イ) 豊齡ネット・仙台フィルハーモニー管弦楽団協働コンサート「午後のひととき クラシックはいかが」 ◆開催日：平成30年8月23日 ◆入場者：291人 ◆仙台フィルハーモニー管弦楽団協働コンサート実行委員会：4回</p> <p>ウ) 仙台市高齢者生きがい健康祭交流広場出展 ◆開催日：平成30年9月16日 ◆会場：勾当台公園市民広場 ◆参加団体：豊齡ネット加入団体 4団体</p> <p>エ) 文化事業①宮城学院女子大学OG会協働「北海道胆振東部地震復興支援チャリティコンサート」 ◆開催日：平成31年1月18日 ◆来場者：215人 文化事業②(株)明治協力「楽しく健活セミナー」 ◆開催日：平成31年3月18日 ◆来場者：69名 ◆文化事業実行委員会：8回</p> <p>オ) 豊齡ネットまつり ◆開催日：平成30年11月30日 ◆参加団体：豊齡ネット加入団体 22団体 ◆来場者：延べ1,288人 ◆豊齡ネットまつり実行委員会：3回</p> <p>カ) その他ボランティア参加、協力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔あそび指導（5月・歴史民俗資料館） ・シルバー創作展 創作体験コーナー及び受付ボランティア（7月・シルバーセンター） ・七夕飾り作成ボランティア体験指導（8～9月・シルバーセンター） ・仙台市高齢者生きがい健康祭交流広場案内チラシ配布（9月・勾当台公園市民広場） ・介護予防月間オープニングイベント運営ボランティア（11月・シルバーセンター） ・シルバー創作展示会受付ボランティア（1月・東北電力ホール） ・脳の健康づくりイベント出展及び運営ボランティア（3月・シルバーセンター） 				
(2) 仙台市ボランティア団体等先導的 事業助成（ふれあいデイホーム） 説明受付審査等業務	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			56,000	55,164
<p>主に介護保険の要介護認定を受けていない高齢者を対象に介護予防等の活動を行うボランティア団体（13団体）に対して、助成申請書類等の説明・受付・審査及び研修会の開催等を実施した。</p> <p>①助成交付申請書・実施報告書等の説明・受付・審査</p> <p>②助成ボランティア団体の活動状況確認及び指導のための訪問調査</p> <p>③研修会の開催</p>				

- ア) 傾聴講座「傾聴のこころ」
 ◆開催日：平成30年7月11日
 ◆参加者：31人（12団体）
- イ) I「天気から見る防災～気象情報のとらえ方～」
 II「平成31年度助成金交付申請書について」
 ◆開催日：平成31年2月6日
 ◆参加者：28人（13団体）
- ④仙台市ボランティア団体等先導的事業助成審査会のための準備業務

4 高齢者等の総合相談

多様化・複雑化する高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、生活全般や専門的な問題に関する相談に応じた。

(1) 高齢者に関する一般相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
◆相談日：305日 ◆利用者：807人（対前年度 15人増）				
(2) 専門相談	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
①税務相談 ◆相談日：12日 ◆利用者：22人（対前年度 3人増） ②年金相談 ◆相談日：12日 ◆利用者：14人（対前年度 5人増） ③法律相談 ◆相談日：48日 ◆利用者：125人（対前年度 33人増）				

※「8 仙台市シルバーセンターの管理運営」との共通予算

5 活動の発表の機会の提供

高齢者の生きがいがづくり支援の一環として、創作活動などの趣味やスポーツ活動の継続支援、活動意欲喚起のために発表機会を提供した。

(1) シルバー創作展	年2回	シルバーセンター等	自主事業	
			140,500	1,430,365
高齢者に芸術創作活動の発表の機会を提供することにより、高齢者の生きがいがづくりを支援するとともに、市民各層の高齢者に対する理解を深めることを目的として、作品展示会を開催した。併せて、1階アトリウムにて、「創作体験コーナー」と壁面飾り「描いてみよう！みんなのイイ顔@せんだい」を実施し、子供から高齢者まで気軽に楽しめる創作体験と世代間交流の場を提供した。また、シルバーセンター以外の施設を会場とした豊齢ネット加入サークルと協働の作品展示会で、高齢者による芸術創作活動支援の周知を図った。				
①第27回シルバー創作展 ◆展示期間：平成30年7月21日～26日（6日間） ◆部門：洋画・日本画・書・写真・工芸・手工芸 ◆出品数：287点（うち招待作家作品6点） ◆来場者：延べ2,416人 ②シルバー創作展示会（宮城野写真クラブ協働） ◆展示期間：平成31年1月16日～20日（5日間） ◆会場：東北電力グリーンプラザ プラザギャラリーSOUTH ◆出品数：55点（うち第27回シルバー創作展上位入賞作品30点） ◆来場者：延べ1,267人				

(2) 全国健康福祉祭 仙台市参加者等派遣業務	年1回	富山県（開催地）	受託事業	
			7,334,913	7,334,913
<p>高齢者の生きがい創造や社会参加、世代間交流を通じ、高齢者の自立や魅力ある長寿社会づくりの契機とすべく、厚生労働省、一般財団法人長寿社会開発センター及び開催自治体である富山県の共催により開催された「第31回全国健康福祉祭とやま大会」に仙台市選手団を派遣した。</p> <p>◆大会期間：平成30年11月3日～6日 ◆派遣種目：卓球等20種目 ◆派遣人員：150人（役員9人含む）</p>				

6 普及啓発イベントの開催

高齢者の生きがい・健康づくりや介護予防の必要性を普及啓発するイベントを開催し、参加者自身の生きがい・健康づくりを支援するとともに、新たな活動の契機を提供した。

(1) 仙台市高齢者生きがい健康祭	9月～11月	勾当台公園市民広場等	自主事業（共催事業）	
			※	※
<p>活力ある高齢社会を目指し、日頃から積極的に活動している高齢者や団体を広く市民にアピールするとともに、スポーツや文化活動を通じて交流を図り、健康づくりや社会参加の機会を提供し、生きがいのある高齢社会の実現を目的とするイベントを仙台市・仙台市高齢者生きがい健康祭実行委員会・当事業団の3者共催により開催した。また、市民広場交流事業では、「介護予防月間」のPRイベントとして、関連する企画も実施した。</p> <p>①市民広場交流事業 ◆開催日：平成30年9月16日 ◆会場：勾当台公園市民広場 ◆来場者：延べ10,000人</p> <p>②競技種目交流大会 ◆期間：平成30年9月8日～11月24日 ◆会場：仙台市内体育館等 ◆競技数：17種目 ◆参加者：1,973人</p>				
(2) 介護予防月間実施業務	11月	シルバーセンター	受託事業	
			596,604	596,604
<p>仙台市は、11月を介護予防月間と定め、市民に向けた介護予防の普及啓発活動を行っている。普及啓発の一層の推進を図るため、各関係機関や地域団体等と協働・連携し、講演会や体験イベント等を開催した。</p> <p>○元気力アップフェスティバル ◆開催日：平成30年11月11日 ◆内容：講演「いよいよ人生100歳時代 元気に楽しく」 「♪南米・音の旅をご一緒に！～ロスミドラス ミニライブ～」 講座「膝痛・腰痛予防！健康いきいき運動教室」「理学療法士による運動教室」「色彩心理学～生活の中に色を！色の持つ力～」 「健康マージャン入門講座」「スマホ体験：親子でLINEを楽しく使おう！」「スマホ体験：災害時に役立つスマホ活用法」 相談・測定・展示コーナー（健康相談、歯・口の健康相談、薬の健康相談、模擬接骨院等） 体験コーナー（段ボール織り機で創作コーナー）、軽食・惣菜等の販売 関係団体事業紹介コーナー ◆来場者：延べ2,072人</p>				

※仙台市高齢者生きがい健康祭は、仙台市から実行委員会へ交付される負担金にて開催した。

7 情報誌の発行

高齢者を中心とした広く市民に対して、健康福祉に関する意識啓発を図った。また、各種事業の参加者募集やシルバーセンターの紹介を行った。

(1) 健康福祉情報誌 「げんき倶楽部 杜人」の発行	年6回	仙台市内外各所で配布	自主事業	
			0	30,240
広く市民に生きがいと健康づくりの重要性を普及啓発するために、関連テーマを取り上げた情報誌を発行し、豊齢化社会の実現に向けた情報の発信を行った。 ◆発行日：隔月末日 ◆発行部数：420,000部（A4冊子版70,000部×6回）				
(2) シルバーセンターだより 「あばいん」の発行	年12回	仙台市内公共施設等で配布	指定管理事業	
			687,336	687,336
広く市民にシルバーセンターを周知するため、シルバーセンターだより「あばいん」を発行した。 ◆発行日：毎月1日 ◆発行部数：42,000部（A3判二つ折り3,500部×12回）				

8 仙台市シルバーセンターの管理運営

福祉団体等の活動活性化を図るための研修室等の貸出、高齢者等の健康保持増進を図るための温水プール等の提供、シルバーセンターの維持管理を行った。

(1) ホール・研修室等の貸出 温水プール等の利用提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業																									
			85,667,251	84,766,146																								
①ホール・研修室等の貸出 ◆貸出日数：交流ホール 341 日、研修室・和室・会議室 341 日 ◆対象：福祉団体及び福祉目的の催事 ◆利用状況： <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>利用件数（対前年度）</th> <th>利用人数（対前年度）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>交流ホール</td> <td>74 件（ 11 件増）</td> <td>7,620 人（1,507 人増）</td> </tr> <tr> <td>第1 研修室</td> <td>288 件（ 16 件減）</td> <td>15,918 人（1,743 人減）</td> </tr> <tr> <td>第2 研修室</td> <td>270 件（ 26 件増）</td> <td>10,953 人（ 840 人増）</td> </tr> <tr> <td>第3 研修室</td> <td>284 件（ 17 件増）</td> <td>2,712 人（ 223 人増）</td> </tr> <tr> <td>和 室</td> <td>161 件（ 35 件減）</td> <td>1,552 人（ 119 人減）</td> </tr> <tr> <td>会 議 室</td> <td>299 件（ 6 件増）</td> <td>2,915 人（ 30 人減）</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,376 件（ 9 件増）</td> <td>41,670 人（ 678 人増）</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-left: 40px;">※前年度、交流ホール83日間休業</p>					施設名	利用件数（対前年度）	利用人数（対前年度）	交流ホール	74 件（ 11 件増）	7,620 人（1,507 人増）	第1 研修室	288 件（ 16 件減）	15,918 人（1,743 人減）	第2 研修室	270 件（ 26 件増）	10,953 人（ 840 人増）	第3 研修室	284 件（ 17 件増）	2,712 人（ 223 人増）	和 室	161 件（ 35 件減）	1,552 人（ 119 人減）	会 議 室	299 件（ 6 件増）	2,915 人（ 30 人減）	合 計	1,376 件（ 9 件増）	41,670 人（ 678 人増）
施設名	利用件数（対前年度）	利用人数（対前年度）																										
交流ホール	74 件（ 11 件増）	7,620 人（1,507 人増）																										
第1 研修室	288 件（ 16 件減）	15,918 人（1,743 人減）																										
第2 研修室	270 件（ 26 件増）	10,953 人（ 840 人増）																										
第3 研修室	284 件（ 17 件増）	2,712 人（ 223 人増）																										
和 室	161 件（ 35 件減）	1,552 人（ 119 人減）																										
会 議 室	299 件（ 6 件増）	2,915 人（ 30 人減）																										
合 計	1,376 件（ 9 件増）	41,670 人（ 678 人増）																										
②温水プール・浴室・サウナの利用提供 ◆貸出日数：303日 ※プール改修につき、32日間利用休業 ◆対象：60歳以上の高齢者及び障害者 ◆利用者：40,609人（対前年度 3,225人減）																												
(2) センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業																									
			※	※																								
①日常管理のための業務委託 警備、清掃、温水プール監視等の常駐業務の管理を行った。 ②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、プール設備等の保守管理、交流ホール舞台設備等の保守管理を行った。 ③事務機器等の賃貸借管理 ④施設整備 冷温水発生機の部品交換、劣化した消防設備の修繕等を行った。 ⑤大規模修繕等管理（仙台市予算） 空調設備自動制御盤等の更新、プール老朽箇所の改修等を行いセンターを良好な状態に維持管理した。 また、利用者の多い階のトイレ便座について暖房機能、温水洗浄便座を追加更新し、利用者の利便性の向上へ努めた。																												

※「(1)ホール・研修室等の貸出、温水プール等の利用提供」との共通予算

公2	市民の健康づくり支援に関する事業及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	218,072,840円
		費用	218,688,678円
		人件費	128,829,194円
		物件費	89,859,484円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 各種教室の開催

生活習慣病や肥満の原因となる運動不足や不規則な食生活の改善、障害者の健康づくり、要介護状態につながる運動機能の低下を予防・改善することを目的として、各種教室を開催した。

(1) 生活習慣病予防・改善講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			524,929	524,929
<p>生活習慣病予防、健康づくりを広く市民に啓発するためセミナーを実施した。また、生活のQOLに大きく影響を及ぼす可能性のあるロコモティブシンドローム予防を目的に運動教室を実施した。</p> <p>①ヘルスプロモーション啓発セミナー</p> <p>ア) 講演「健康的和食のススメ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施日：平成30年12月8日 ◆参加者：50人 <p>イ) 講演「歯や口の健康が全身の健康にも影響～口腔の健康と生活習慣病予防と健康寿命～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施日：平成31年3月17日 ◆参加者：63人 <p>②ごはん de 健康セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：手軽に作れるヘルシー弁当のコツ ◆実施日：平成30年5月18日 ◆参加者：18人 <p>③ロコモティブシンドローム予防教室</p> <p>ア) 「ロコモ予防でロコモっと元気！～食事編 コツコツ元気！食事から骨を強く～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施日：平成30年6月30日 ◆参加者：14人 <p>イ) 「ロコモ予防でロコモっと元気！～運動編①家庭でできる運動～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施日：平成30年7月7日 ◆参加者：18人 <p>ウ) 「ロコモ予防でロコモっと元気！～運動編②筋肉鍛えてバランスアップ～」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施日：平成30年7月14日 ◆参加者：21人 				
(2) 障害者健康づくり教室	通年	地下鉄沿線施設等	指定管理事業	
			590,536	590,536
<p>①地域拠点教室（個人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：16歳以上の障害者で運動習慣のない方 ◆会 場：富沢市民センター、シルバーセンター、健康増進センター ◆実施回数：114回 ◆参加者：延べ626人 <p>②地域拠点教室（夕暮れエクササイズ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：若年者軽度知的障害者 ◆会 場：健康増進センター ◆実施回数：40回 ◆参加者：延べ669人 				

③地域拠点教室（呼吸らくらくレクリエーションサークル）

- ◆対 象：・16歳以上で運動可能な呼吸器の病気があり、これから継続して活動をしていきたい方
- ・在宅酸素療法を利用している方
- ・日常的に息切れや息苦しさがある方

◆会 場：健康増進センター

◆実施回数：40回

◆参加者：延べ73人

④地域拠点教室（団体・グループ）

◆対 象：障害者施設・団体・グループ（12団体・施設）

◆実施回数：85回

◆参加者：延べ962人（支援者、職員含む）

⑤支援学校対象教室

◆対 象：支援学校（生徒・教職員）

◆実施回数：20回

◆参加者：延べ526人（教職員含む）

⑥調査・研究・開発

各区障害者自立支援協議会等において地域情報の収集を行い、ネットワークの構築を図った。また、障害特性を考慮した運動プログラムや体力測定法、ツールの開発等を行った。

ア) 障害者の健康づくりに係る地域資源の調査・分析

イ) 障害者の健康づくり援助法開発に係る事例構築

(3) 高齢者運動教室

健康づくりや介護予防の啓発等を目的として、元気高齢者、後期高齢者、認知機能の低下予防に取り組みたい方等を対象に、高齢者運動教室を開催した。また、修了後は地域の自主サークルとのネットワークを活用し、運動の継続を支援した。

ア	高齢者運動教室	通年	シルバーセンター等	自主事業	
				7,808,597	8,186,207
<p>①シニア元気あっぷ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆実施回数：320回（8回×10コース×4期） ◆参加者：延べ8,894人 <p>②はつらつ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆実施回数：128回（8回×4コース×4期） ◆参加者：延べ2,256人 <p>③きらら元気運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：おおむね60歳以上の市民 ◆実施回数：26回 ◆参加者：延べ1,174人 <p>④いきいき脳活健幸教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：認知機能の低下予防に興味がある満65歳以上の市民 ◆実施回数：32回（8回×1コース×4期） ◆参加者：延べ550人 <p>⑤いきいき脳活健幸モデル教室 同窓会（会場：健康増進センター）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実 施 日：平成30年9月14日 ◆対 象：平成29年度いきいき脳活健幸モデル教室受講生 ◆参加者：22人 <p>⑥サロン活動（クリスマス会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実 施 日：平成30年12月19日 ◆対 象：高齢者運動教室参加者 ◆参加者：54人（支援者含む） <p>⑦高齢者運動教室公開講座</p> <p>ア) 第3回ロコモ予防イベント「ロコモっと元気」</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施日：平成30年6月13日 ◆内 容：ロコモティブシンドローム予防啓発のための講話と実技 					

	<ul style="list-style-type: none"> ◆参加者：234人 1)睡眠マルシェ ◆実施日：平成31年3月9日 ◆内 容：認知機能低下予防・啓発のためのセミナーとイベント ◆参加者：296人（再掲） 				
イ	高齢者運動教室	通年	健康増進センター	指定管理事業	
				1,914,963	1,914,963
<p>①いずみシニア元気あっぷ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満65歳以上の市民 ◆実施回数：64回（8回×2コース×4期） ◆参 加 者：延べ1,859人 <p>②シニアステップアップ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：概ね60歳以上の運動可能な方 ◆実施回数：132回 ◆参 加 者：延べ4,121人 <p>③いずみいきいき脳活健幸教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：認知機能の低下予防に興味がある満65歳以上の市民 ◆実施回数：32回（8回×1コース×4期） ◆参 加 者：延べ452人 <p>④いずみはつらつ運動教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：満80歳以上の市民 ◆実施回数：32回（8回×1コース×4期） ◆参 加 者：延べ661人 					

2 運動支援者・指導者の人材養成

障害者の健康増進、高齢者の介護予防を支援するために必要な運動に関する知識・技術・実践力の習得、支援者・指導者の養成を目的とした研修会を開催した。

(1) 障害者運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			164,199	164,199
<p>①サポーター活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：障害者健康づくり運動教室 ◆対 象：障害者運動サポーター ◆実施回数：109回 ◆参 加 者：延べ159人 <p>②スキルアップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実 施 日：平成30年11月19日 ◆内 容：障害のある方への支援についての講話とグループワーク ◆対 象：障害者運動サポーター、地域ボランティア、支援者等 ◆参 加 者：16人 				
(2) 介護予防自主グループ支援事業 (介護予防運動サポーター養成研修会)	通年	区役所等	受託事業	
			630,498	630,498
<p>地域の介護予防を支援する介護予防自主グループサポーターの養成研修及び活動支援を行った。</p> <p>①新規サポーター養成研修（追加サポーター養成と合同）</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：34回（3区及び1支所） ◆参 加 者：延べ279人 <p>②追加サポーター養成研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：30回（5区及び1支所） ◆参 加 者：延べ595人 <p>③スキルアップ研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：24回（4区及び2支所） ◆参 加 者：延べ974人 				

④合同スキルアップ研修 ◆実施回数：2回 ◆参加者：121人 ⑤「杜の都のおトク体操」の普及啓発（CD配布・資料配布） ◆件数：介護予防自主グループCD配布11件			
(3) 健康づくり運動サポーター養成研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業
			※1 ※1
健康づくり運動サポーター自主グループ“ウェルネスホープ”を対象に、研修と支援を行った。 ①サポーター活用 ◆内容：高齢者運動教室、施設利用事業、イベント等 ◆実施回数：274回 ◆参加者：延べ450人 ②自主活動支援 ◆内容：自主研修、スキルアップ研修、すこやかサロン、はつらつ健康フェスティバル等 ◆実施回数：40回 ◆参加者：延べ273人			
(4) 介護予防支援者研修会	年1回	シルバーセンター	自主事業
			29,000 ※2
地域で介護予防の支援を行っている方を対象に、介護予防に関する運動実践のための知識や技術の習得を目的とした研修会を開催した。 ◆実施日：平成30年9月12日 ◆内容：運動支援者のための「脳の健康づくり」研修会 ◆対象：介護予防の運動支援者 ◆参加者：58人			
(5) 指導者研修会	通年	健康増進センター等	指定管理事業
			※1 ※1
①健康づくり指導者研修会 ◆実施期間：平成30年4月～平成31年3月 ◆対象：地域関係機関職員、地域運動サポーター、民生委員、運動指導員等 ◆実施回数：8回 ◆参加者：777人 ②学生実習 ◆実施時期：平成30年11月 ◆対象：台原中学校職場体験、向陽台中学校職場体験、東北大学医学部公衆衛生学分野 ◆実施回数：5回 ◆参加者：延べ15人 ③せんだい豊齢学園講義 ◆実施時期：平成30年9月～11月 ◆実施回数：3回 ◆内容：運動器の機能向上（講話・実技）、栄養講話（元気に過ごすための食生活についての講話） ◆参加者：延べ289人			

※1 「(1) 障害者運動サポーター養成研修会」との共通予算

※2 「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

3 健康づくりに関する相談・支援

生活習慣病の発症リスクが高い人や障害者、高齢者が主体的に継続して健康づくりに取り組むことができるように、生活習慣や運動に関する相談・支援を行った。

(1) 障害者健康づくり支援事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業
			※1 ※1
障害者健康づくり教室修了者等を対象に、必要に応じたフォローアップや継続支援（施設支援・個別支援）を行った。			

◆対 象：障害者施設3ヶ所 ◆実施回数：4回 ◆参 加 者：延べ69人（職員含む）				
(2) 運動自主グループ活動支援事業	通年	市民センター等	自主事業	
			0	※2
地域の社会資源である運動自主グループの活動継続を支援し、地域の介護予防に寄与した。 ◆対 象：21グループ（会員626人） ◆内 容 等：グループ訪問（活動確認） 21グループ 477人 巡回支援（総会・運動・健康講話等） 4件 情報提供（おトク通信・生涯健康脳） 3回 会員募集案内掲載（ホームページ、館内）				
(3) 介護予防プログラム強化事業	通年	シルバーセンター等	受託事業	
			230,000	230,000
<p>介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）の中でも仙台市が民間事業者に委託実施する通所型短期集中予防サービス（元気応援教室）における機能向上プログラムについて、通所型短期集中予防サービス事業所訪問や研修会の実施を通して、質の確保及び向上を図るとともに、共通運動メニューの普及啓発に関する業務として、ワーキングへの参加、リーフレットの作成、テキストの変更を行った。</p> <p>①介護予防事業所基礎研修（仙台市主催） 介護予防関連事業の情報交換会・報告会に参加し、助言や講話、運動指導を行う講師を派遣した。</p> <p>ア) 通所型短期集中予防サービス（元気応援教室）受託事業所情報交換会 ◆実 施 日：平成30年8月27日 ◆参 加 者：74人</p> <p>イ) 介護予防事業報告会 ◆実 施 日：平成31年3月8日 ◆参 加 者：33人</p> <p>②元気応援教室事業所訪問 ◆実施回数：10回</p> <p>③共通運動メニューの普及啓発に関する業務 ア) ワーキングへの参加 ◆実施回数：4回 イ) リーフレットの作成 ◆内 容：杜の都の体操シリーズ啓発リーフレット、杜の都のきほん体操（リニューアル）、杜の都のおトク体操（リニューアル）</p>				
(4) 健康づくり支援プラン事業	通年	健康増進センター等	指定管理事業	
			2,398,338	2,398,338
<p>健康度測定（4コース）を実施するとともに、その結果に基づいた健康づくり支援プランの作成や継続的な健康づくりの支援及び事後評価を行った。また、支援プラン作成者を対象に、健康づくりの継続支援を目的とした講座を実施した。</p> <p>①健康づくり支援プラン作成 ◆実施日数：99日 ◆利 用 者：総合コース 48人（障害者 6人、高齢者 1人、一般41人） 簡易コース 94人（障害者51人、高齢者 1人、一般42人） 身体活動コース 178人（障害者99人、高齢者58人、一般21人） 食生活コース 1人（高齢者 1人）</p> <p>②支援プラントレーニング ◆内 容：支援プラン作成者を対象とした保健・栄養指導、運動実技、ヘルスチェック等の継続支援 ◆実施日数：142日 ◆利 用 者：延べ5,950人（障害者4,149人、高齢者・一般1,801人）</p> <p>③生活習慣病重症化・合併症予防事業 循環器疾患の危険因子である高血圧を予防・改善するための減塩プログラム事業を実施した。</p> <p>ア) 春からチャレンジ！減塩ごはんづくり ◆実 施 日：平成31年3月23日 ◆参 加 者：13人</p>				

イ) お手軽とる塩チェック

◆実施日：平成30年8月8日、10月20日、12月19日、平成31年2月16日、3月13日

◆参加者：64人

④健康相談

◆内容：医師による健康相談

◆相談回数：1回

◆参加者：1人

⑤調査・研究・開発

健康づくり支援プラン事業において実施する生活習慣病重症化・合併症予防を目的とした生活改善プログラムについて、支援方法及びツールの開発を行った。

※1「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算

※2「5(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

4 活動の発表の機会の提供

日頃の健康づくりや介護予防に関する活動の継続支援、活動意欲の喚起を図ることを目的に、発表機会の提供を行った。また、世代間交流を通じて介護予防への理解を広げた。

(1) はつらつ健康フェスティバル	年1回	カメイアリーナ仙台 (仙台市体育館)	自主事業	
			152,100	198,932
<p>生きがい健康づくりの一環として、地域の市民センターや体育館で各種ダンス等の活動を行っているグループに対し発表の場を提供した。また、世代間交流と若い世代へ向けての介護予防の理解・啓発を目的として参加発表の場を提供した。</p> <p>◆実施日：平成30年10月20日</p> <p>◆対象：仙台市内を拠点とするグループ</p> <p>◆来場者：798人</p> <p>◆発表者：24グループ、495人（11演技）</p> <p>◆特別出演団体：5団体 87人</p>				

5 地域展開・普及啓発

地域や企業、障害者団体等の依頼に応じた職員派遣、教室開催等を通じて、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康増進、高齢者の介護予防の重要性の普及啓発等を行った。

(1) 出前講座					
ア	出前講座 (生活習慣病予防・改善)	通年	仙台市内	指定管理事業	
				※1	※1
<p>①健康づくり応援事業</p> <p>調査・研究等で把握した健康課題を市民の健康づくりに結び付けるため、地域やイベントで各健康づくり応援企画を実施した。また健康づくりツールとして、ウォーキングマップの見直しと増刷、情報提供を行った。</p> <p>ア) 2018ガスフェアの健康づくり啓発</p> <p>◆実施日：平成30年11月16日、11月17日</p> <p>◆内容：呼気一酸化炭素濃度、血圧測定、握力測定、認知機能低下予防に関するパネル啓発</p> <p>◆参加者：990人</p> <p>イ) ウォーキングマップの見直しおよび増刷</p> <p>◆コース：薬師堂周辺コース 長町南～河原町周辺コース</p> <p>ウ) 宮城県版ウォーキングアプリへの情報提供</p> <p>◆コース：定禅寺通～西公園周辺（外回り・内回りコース） 他8コース</p> <p>②健康啓発事業</p> <p>健康づくりの啓発・支援を目的に職員派遣を行った。</p> <p>◆対象：市民及び職域</p> <p>◆実施回数：25回</p> <p>◆利用者：1,443人</p>					

イ	出前講座 (障害者の健康増進)	通年	仙台市内	指定管理事業	
				※2	※2
	<p>①障害者団体出前講座 障害者の健康づくりを啓発・支援することを目的に職員派遣を行った。 ◆対 象：障害者、施設職員、障害者を支援する方等 ◆実施回数：12回 ◆参加者：317人（当事者292人、職員25人）</p> <p>②連携事業 ア) いず☆ちゅう健幸祭 健康増進センター大規模修繕工事のため中止。 イ) 呼吸健康教室 障害者総合支援センターとの事業連携を行った。 ◆実施日：平成30年10月10日 ◆対 象：呼吸器疾患者 ◆参加者：17人 ウ) その他連携事業 ○精神保健福祉総合センターとの連携事業 ◆実施回数：2回 ◆参加者：65人（当事者33人、支援者・職員32人） ○メンタルヘルスネットワーク in 仙台との連携事業 ◆内 容：スポーツフェスティバルでの体力測定 ◆実施日：平成30年5月11日 ◆参加者：64人（当事者35人、支援者・職員29人）</p> <p>③ネットワーク構築 障害者を地域で支援する関係機関との各区障害者自立支援協議会等に参加し、情報交換や連携を進めた。 ◆参加回数：71回</p>				
ウ	出前講座 (高齢者の介護予防)	通年	仙台市内	自主事業	
				0	387,576
	<p>①出前講座 介護予防の地域づくり支援を目的に職員派遣を行った。 ◆対 象：町内会、地区社会福祉協議会、仙台市老人クラブ連合会、シルバー人材センター等 ◆実施回数：25回 ◆参加者：延べ1,570人</p> <p>②地域介護予防活動支援教室 被災者を含むより多くの人が、気軽にいつからでも参加できる高齢者の相互支援活動の場所として開催した。 ○すこやかサロン ◆実施期間：平成30年4月～平成31年3月 ◆対 象：東日本大震災により被災した地域の住民 ◆実施回数：24回 ◆参加者：延べ768人</p> <p>③ネットワーク事業 東日本大震災を契機として設立された「健康運動支援情報ネットワーク仙台みやぎ（UNDA）」の事務局として研修会を実施した。 ア) 代表者会議 ◆実施日：平成30年4月12日 ◆参加者：13人 イ) 運動指導従事者研修会 ◆実施日：平成31年2月2日 ◆参加者：43人 ウ) 関係団体協力 ◆実施回数：3回</p>				

	◆内 容：ロコモ予防の日イベント、健康づくり応援イベント、健康そーらん普及 ◆参 加 者：延べ304人		
(2) ふれあい広場でストレッチ	年2回	シルバーセンター	自主事業 0 ※3
介護予防の普及啓発、運動実践を目的とした単発の運動教室を開催した。 ◆対 象：概ね60歳以上の方 ◆実施回数：2回 ◆参 加 者：22人			
(3) 被災者向け介護予防・コミュニティ形成事業	通年	復興公営住宅 集会所等	受託事業 433,587 433,587
東日本大震災により数回の転居を余儀なくされ、その都度新たなコミュニティ形成を必要とする被災高齢者を対象として、閉じこもりや生活不活発病を予防し、生活機能の維持・改善を図るとともに、新たな交流の場を提供する目的で運動教室を開催した。 ①被災者向け介護予防運動教室 ◆実施回数：47回（4区・7ヶ所） ◆参 加 者：延べ781人 ◆打 合 せ：25回 ②ツールの提供 ◆内 容 等：各種リーフレットの配布 10部			
(4) 介護予防体操、運動道具の普及・販売	通年	—	自主事業 236,180 ※4
①介護予防体操の普及 音楽に合わせて安全で気軽にできる体操「杜の都のおトク体操」の普及を行った。 ◆内 容 等：仙台市高齢者生きがい健康祭、はつらつ健康フェスティバルでの体操実施 CD販売 17枚 リーフレット提供 6件 416部 ②運動道具の取次販売等 運動自主グループへ運動道具の取次販売を行い、介護予防の実践活動を支援した。 ◆内 容 等：運動道具の取次 1回（13グループ）			

※1 「1(1) 生活習慣病予防・改善講座」との共通予算

※2 「1(2) 障害者健康づくり教室」との共通予算

※3 「1(3)ア 高齢者運動教室」との共通経費

※4 「(1)ウ 出前講座（高齢者の介護予防）」との共通経費

6 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業 74,199,719 74,199,719
①日常管理のための業務委託 ビル管理・清掃等の常駐業務の管理を行った。 ②設備の保守点検等の業務委託 空調設備、エレベーター設備、トレーニング機器等の保守管理を行った。 ③施設整備 雨漏り対策の応急処置や電気、空調、消防設備等の修繕を行った。 ④大規模修繕管理（仙台市予算） 屋根及び外壁の修繕工事を行った（平成30年7月～平成31年2月）。また、電気設備工事として高圧ケーブルの更新を行った。			

公3 高齢者等の介護に関する研修、相談及び情報提供を行う事業	収益	54,017,597円
	費用	54,081,853円
	人件費	33,488,057円
	物件費	20,593,796円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 介護講座の開催

家庭で実際に介護をしている方や市民を対象に、介護に必要な知識や技術の習得を目的とした介護講座を開催した。

(1) 市民向け介護講座	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			9,061,943	9,722,767
<p>①介護1日講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：介護実習等を通して、介護の基本的な知識・技術を1日で学ぶ講座 ◆実施回数：6回 ◆参加者：276人 <p>②認知症を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：認知症について、医学的な知識や社会資源の活用、地域での支援を学ぶ講座 ◆実施回数：4回 ◆参加者：340人 <p>③ターミナルケアを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：看取りについての理解を深め、その支援等を学ぶ講座 ◆実施回数：2回 ◆参加者：189人 <p>④テーマ別介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：テーマ毎に介護についての考え方や介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：8回 ◆参加者：573人 <p>⑤土曜介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：平日の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：135人 <p>⑥地域介護講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：市民センター等と共同で開催する、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：4回 ◆参加者：82人 <p>⑦介護ライター講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：日中の受講が難しい市民を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：156人 <p>⑧働く方の介護入門講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：働き盛りの方を対象とした、介護の基本的な知識・技術を学ぶ講座 ◆実施回数：3回 ◆参加者：127人 <p>⑨知って役立つ福祉用具講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内 容：福祉用具展示室を利用し、機器の特性や使い方を学ぶ講座 ◆実施回数：6回 ◆参加者：77人 				

⑩学校向け介護体験講座

◆内 容：高齢者、障害者、認知症の方への理解を深めたいと考えている小学校・中学校・高校に出張して行う講座（高齢者疑似体験、車いす体験、認知症の方との接し方）

◆実施回数：9回

◆参加者：748人

⑪福祉用具体験講座

◆内 容：10人以上の希望する団体を対象に、福祉用具の選び方・使い方等を学ぶ講座

◆実施団体：1団体

◆参加者：83人

⑫「福祉用具の日」・「介護の日」記念行事

◆内 容：10月1日の「福祉用具の日」・11月11日の「介護の日」を記念したセミナー・講演会の開催、福祉用具の特別展示

◆実施回数：各1回

◆参加者：743人（福祉用具の日）延べ634人、「介護の日」109人）

2 介護職の人材養成

介護職を対象に、認知症高齢者をはじめとした要介護者の介護に必要な知識・技術の修得や向上を目的とした研修を開催した。

(1) 認知症介護研修	通年	シルバーセンター	受託事業	
			7,409,111	7,409,111
<p>介護職員等を対象に、認知症高齢者を介護するために必要な知識・技術の修得や向上を目的とした研修を開催した。</p> <p>①認知症介護基礎研修 認知症高齢者の介護に必要な、基礎的な知識・技術を修得し、それを実践する考え方を身に付け、基本的なサービス提供を行う人材を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習1日 ◆対 象：仙台市内の介護保険施設、事業所等に従事する介護職員等 ◆実施回数：2回 ◆参加者：69人</p> <p>②認知症介護実践者研修 施設、在宅にかかわらず、認知症の原因疾患や容態に応じて、本人やその家族の生活の質の向上を図る対応・技術を修得した人材を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習5日、職場実習4週間、中間報告1日、報告会1日 ◆対 象：実務経験2年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆実施回数：4回 ◆参加者：250人</p> <p>③認知症介護実践リーダー研修 ケアチームにおける指導的立場として実践者の知識・技術・態度を指導する能力及びチームマネジメント能力を修得した人材を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習9日、職場実習4週間、報告会1日 ◆対 象：実務経験5年以上の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆実施回数：1回 ◆参加者：37人</p> <p>④認知症対応型サービス事業管理者研修 管理者の役割、サービス提供のあり方、地域との連携のあり方等、事業所を管理運営していくために必要な知識・技術を修得した人材を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：地域密着型サービス事業所の管理者または管理者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆実施回数：2回 ◆参加者：47人</p>				

<p>⑤小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修 利用者及び事業の特性を踏まえた介護事業計画を作成するために必要な知識・技術を修得し、介護サービスの質の向上を図り得る人材を養成した。</p> <p>◆内 容：講義演習2日 ◆対 象：小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の計画作成担当者または計画作成担当者に就任予定の市内福祉関係事業所の介護職員等</p> <p>◆実施回数：1回 ◆参加者：14人</p>				
(2) キャラバン・メイト養成・スキルアップ研修	年2回	シルバーセンター	受託事業	
			※	※
<p>①キャラバン・メイト養成研修 認知症サポーター養成講座の講師役であるキャラバン・メイトを養成した。</p> <p>◆内 容：認知症の症状、認知症の人と接するときの心構え、認知症サポーター養成講座の運営方法等 ◆対 象：地域包括支援センター職員、認知症介護実践リーダー研修等を修了した者</p> <p>◆実施回数：1回 ◆参加者：50人</p> <p>②キャラバン・メイトスキルアップ研修 キャラバン・メイトを対象に、地域で認知症パートナー講座を開催する方法を紹介し、積極的な活動を行えるボランティアの養成に繋げた。</p> <p>◆対 象：キャラバン・メイト ◆実施回数：1回 ◆参加者：48人</p>				
(3) 難病患者等ホームヘルパー養成研修	年1回	シルバーセンター	受託事業	
			107,916	107,916
<p>難病患者等へのサービスの提供のために必要な知識や技術を修得し、より適切なホームヘルプサービスを提供できるホームヘルパーを養成した。</p> <p>◆内 容：難病の症状やケアに関する医学知識、医療・保険・福祉制度、本人の心理、家族の理解 ◆対 象：難病患者等のホームヘルプ事業に従事している介護職員または今後従事予定の介護職員 ◆実施回数：1回 ◆参加者：11人</p>				
(4) 介護職スキルアップ研修	年11回	シルバーセンター	自主事業	
			1,931,570	1,954,002
<p>介護業務に必要な知識・技術の習得及び意識の高揚を図り、介護職としての資質向上を図るための研修を実施した。</p> <p>◆内 容：介護技術実習、認知症の理解と対応、ターミナルケア等 ◆対 象：市内福祉関係事業所の介護職員等 ◆実施回数：11回 ◆参加者：731人</p>				
(5) 介護福祉士国家試験 事前実技試験講習会	—	—	自主事業	
			0	0
<p>制度の改正により「実務者研修」又は「介護技術講習」の受講により資格取得が可能となり、実技試験の受講者が激減したことから、参加申込みが見込めないため、休止した。</p>				
(6) 生活支援訪問型サービス事業 従事者等養成研修	年4回	シルバーセンター	受託事業	
			1,400,000	1,400,000
<p>介護の基本的な知識・技術を学び、修了後は、仙台市介護予防、日常生活支援総合事業の訪問支援員となる資格者を養成した。</p> <p>◆内 容：職務の理解、尊厳の保持・自立支援、介護の基本、加齢・老化等に伴う心身の変化、コミュニケーション技術、生活支援等（講義・演習2日間） ◆対 象：仙台市内にお住まいの方 ◆実施回数：4回 ◆参加者：173人</p>				

※「(1) 認知症介護研修」との共通予算

3 介護に関する相談、情報提供

高齢者やその家族が抱える悩みに対応するために、在宅介護や福祉用具、高齢者の保健福祉サービス等に関する相談、情報提供を行った。

(1) 介護に関する相談 情報提供	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			※	※
<p>①介護に関する相談 要介護者やその家族等を支援するために、福祉用具や介護に関する相談に対応した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆相談日：シルバーセンター休館日を除く毎日 ◆相談方法：電話、来所 ◆相談件数：2,199件（電話164件、来所2,035件） ◆内容別件数：4,637件（福祉用具3,436件、介護172件、住宅12件、制度430件、研修73件、就業31件、資格14件、その他469件） <p>②図書等の閲覧・貸出 介護、福祉用具、保健福祉サービス等に関する情報を提供するほか、図書・DVD・ビデオの閲覧・貸出を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆閲覧件数：図書 411件・DVD 85件・ビデオ 1件 ◆貸出件数：図書 107件・DVD 10件 ◆保有数：図書1,272冊・DVD 68本・ビデオ93本（平成31年3月31日現在） <p>③福祉用具の展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆常設展示：ベッド、床ずれ予防関連用品、排泄用品、生活自助具、車いす等486点 ◆特別展示：10月1日の「福祉用具の日」・11月11日の「介護の日」を記念した福祉用具の特別展示（介護食品等）のほか、高齢者生きがい健康祭、ふれあい広場（年4回）や生きがい・健康づくりイベントに福祉用具の展示コーナーを設置し、福祉用具の選び方、使い方などの体験を行った。 ◆利用者：6,474人 ※但し、ふれあい広場347人を含む。 				

※「1(1) 市民向け介護講座」との共通予算

4 地域展開・普及啓発

学校、企業、町内会等の団体からの依頼に応じた講師派遣、講座の企画・実施を通じて、認知症への理解を深めるとともに、介護に必要な知識・技術の普及啓発を行った。

(1) 認知症サポーターの養成等	通年	市内各所	受託事業	
			※	※
<p>認知症についての正しい知識普及、認知症の人や家族の応援、地域における見守り・理解者となる認知症サポーターの養成、情報交換会を開催した。</p> <p>①認知症サポーター養成講座事務局運営 講座開催を希望する学校、企業等からの依頼に応じて、養成研修を修了したキャラバン・メイトの派遣や教材手配を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆実施回数：289回 ◆参加者：11,421人 <p>②認知症サポーターステップアップ研修（認知症パートナー講座） 認知症サポーター等を対象に地域で活躍するために必要な知識・情報を修得するための研修を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対象：市内の認知症サポーター等 ◆実施回数：2回 ◆参加者：125人 <p>③認知症サポーター情報交換会 認知症サポーター等を対象に地域の最新情報の共有とつながりを広げる場を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆内容：好事例の紹介、活動情報の交換 				

◆対 象：市内の認知症サポーター等			
◆実施回数：1回			
◆参 加 者：34人			
(2) 職域等向け介護研修	年1回	—	自主事業
			0 0
<p>介護に必要な知識・技術の習得を目的に、職域等（企業、商店組織、介護サービス事業者等）からの希望に応じた研修を企画した。</p> <p>◆実施回数：1回</p> <p>◆参 加 者：20人</p>			

※「2(1) 認知症介護研修」との共通予算

公4 要介護認定及び障害支援区分認定に係る認定調査を行う事業	収益	350,153,881円
	費用	351,603,881円
	人件費	289,596,642円
	物件費	62,007,239円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

(1) 要介護認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			60,036,720	60,036,720

仙台市及び他市町村等から委託を受け、介護保険法及び生活保護法に基づく介護サービスの受給要件となる要介護認定のための訪問調査と介護認定調査票の作成を行った。

①仙台市

ア) 介護保険法に基づく要介護（要支援）認定調査

◆受理件数：34,616件（対前年度 2,570件減）

◆実施件数：32,318件（対前年度 5,259件減）

イ) 生活保護法に基づく介護扶助決定のための訪問調査

◆受理件数：177件（対前年度 35件減）

◆実施件数：162件（対前年度 60件減）

②他市町村等

◆受理件数：668件（対前年度 156件増）

◆実施件数：630件（対前年度 146件増）

(2) 障害支援区分認定訪問調査受託事業	通年	—	受託事業	
			1,970,519	1,970,519

仙台市及び他市町村から委託を受け、障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスの受給要件となる障害支援区分認定のための訪問調査を行った。

①仙台市

◆受理件数：2,373件（対前年度 771件増）

◆実施件数：2,282件（対前年度 783件増）

②他市町村

◆受理件数：3件（対前年度 1件増）

◆実施件数：3件（対前年度 1件増）

【収益事業】

収 1 仙台市シルバーセンターの管理運営を行う事業	収益	69,373,680円
	費用	64,951,370円
	人件費	11,462,222円
	物件費	53,489,148円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位 ; 円、費用 ; 物件費)

1 仙台市シルバーセンターの管理運営

(1) ホール・研修室等の貸出 温水プール等の利用提供 センターの維持管理	通年	シルバーセンター	指定管理事業	
			57,131,036	53,489,148

①ホール・研修室等の貸出

◆貸出日数：交流ホール 341 日、研修室・和室・会議室 341 日

◆対 象：福祉団体及び福祉目的以外の催事

◆利用状況：

施設名	利用件数 (対前年度)	利用人数 (対前年度)
交流ホール	120 件 (26 件増)	21,555 人 (4,556 人増)
第 1 研修室	55 件 (73 件減)	6,090 人 (1,283 人増)
第 2 研修室	75 件 (8 件増)	4,342 人 (550 人増)
第 3 研修室	476 件 (51 件増)	3,888 人 (138 人増)
和 室	356 件 (5 件増)	3,237 人 (72 人増)
会 議 室	368 件 (37 件増)	3,567 人 (560 人増)
合 計	1,450 件 (54 件増)	42,679 人 (7,159 人増)

※前年度、交流ホール 83 日間休業

②温水プール・浴室・サウナの利用提供

◆貸出日数：303日※プール改修につき、32日間休業

◆対 象：60歳以上の高齢者及び障害者以外の方

◆利 用 者：3,977 人 (対前年度 105 人増)

③センターの維持管理

◆内 容：市民が安全に利用できるよう、センターを良好な状態に維持管理した。

収 2	生活習慣病予防・改善講座及び仙台市健康増進センターの管理運営を行う事業	収益	25,788,220円
		費用	25,783,358円
		人件費	14,346,048円
		物件費	11,437,310円

番号	事業名	実施時期	会場	事業形態	
				収益	費用
事業内容					

(単位；円、費用；物件費)

1 生活習慣病の予防・改善に関する講座

(1) 健康づくり推進事業	通年	健康増進センター	自主事業	
			211,600	206,738
<p>健康度測定受診者及び健康づくり講座参加者を対象に、身体状況の把握や効果測定等を目的として、血液・尿検査を行った。また、身体活動量の目安把握のため、歩数計を配付した。</p> <p>◆利用者：血液・尿検査 31人 尿検査 77人 歩数計配付 45人</p>				
(2) 健康づくり講座	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			143,258	143,258
<p>① ヘルスアップセミナー</p> <p>働き盛りの世代のうちから肥満や運動不足、食事バランスの偏り、喫煙等の生活習慣の改善を促し、将来の疾病を予防することを目的とした講座を開催した。</p> <p>ア) 「高血圧予防について」</p> <p>◆実施日：平成30年9月1日 ◆参加者：21人</p> <p>イ) 「糖尿病予防について～食生活編～」</p> <p>◆実施日：平成30年10月27日 ◆参加者：20人</p> <p>ウ) 「糖尿病予防について～運動編～」</p> <p>◆実施日：平成30年11月10日 ◆参加者：8人</p> <p>エ) ヘルスアップセミナー（団体向け）</p> <p>◆実施日：平成30年10月5日・24日 ◆参加者：43人</p> <p>②メタボリックシンドローム予防教室</p> <p>働き盛りの世代を中心に、生活習慣の見直しや改善への取り組みを促し、メタボリックシンドローム予備軍の減少と適正体重者の増加を目指すとともに、早い段階からの生活改善により、将来の生活習慣病予防を図るための講座を実施した。また、減量及び内臓脂肪減少によるメタボリックシンドローム予防・改善のための講座を実施した。</p> <p>ア) 新入社員の生活習慣病予防講座</p> <p>◆実施日：平成30年4月12日、10月1日 ◆参加者：延べ70人</p> <p>イ) 減量チャレンジ講座</p> <p>◆実施日：平成31年2月2日、2月16日 ◆参加者：延べ34人</p>				

2 仙台市健康増進センターの管理運営

(1) 施設の利用提供 センターの維持管理	通年	健康増進センター	指定管理事業	
			11,087,314	11,087,314
<p>①施設の利用提供 公益目的事業未使用時の施設を健康づくりの場として提供し、市民の健康づくりを支援した。</p> <p>ア) 健康情報の提供 イ) 施設利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆対 象：16歳以上で運動可能な市民 ◆実施回数：96回 ◆利 用 者：7,562人（障害者1,552人、高齢者4,357人、一般1,653人） <p>②施設利用サポーターの活用 施設の利用提供において、利用者が増加し、高齢者や障害者の割合が高くなっている状況を踏まえ、利用者の安全性確保と利便性向上を図るため、施設利用サポーターを養成し、その活用を行った。</p> <p>③センターの維持管理 公益目的事業以外に係るセンターの維持管理を行った。</p>				